

# 各地区業況アンケート結果（31年3月調査分）

（31年3月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

3月22日締切で、当会役員146名に対しこのアンケートを行ったところ80名の回答があり（回答率54.8%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※  $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、(数は回答実数)

## 1. 前年同月比売上数量増の企業は4割強

問1】貴社の2月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	16	17	27	13	7	80	77
比率	20%	21%	34%	16%	9%	DI+28	DI+22
売上金額/前年同月比	18	18	27	11	6	80	76
比率	23%	23%	33%	14%	7%	DI+39	DI+36

## 2. 収益状況改善

問2】貴社の2月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	18	34	17	10	1	80	77
比率	23%	42%	21%	13%	1%	DI+73	DI+47

## 3. その他需要家向け以外はやや減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て3月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	2	8	36	12	1	59	-3	-18
民間建設向	2	12	39	15	1	69	-1	-5
自動車向		2	36	3		41	-2	+13
その他需要家向	1	12	47	9	1	70	+4	-8
仲間取引	1	6	43	10	4	64	-16	-23
計	6	40	201	49	7	303	-4	-10
比率	2%	13%	67%	16%	2%			

## 4. 第1四半期も盛上らず低調推移

問4】貴社における向う4月から6月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	23	39	14	2	79	75
比率	1%	29%	49%	18%	3%	DI +9	DI +16

## 5. コラム不足気味が多少緩和

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	品種別	A	B	C	D	E		3月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-4	-17	0	0	-7	7	-3	3	0	0	19	11	0	鉄筋用丸鋼		3	26	3		32	0
7	10	10	10	13	13	0	6	15	7	0	0	-3	構造用丸鋼		2	28	2		32	0
0	-10	-3	-3	-6	0	-9	-3	0	-3	3	0	-3	平角鋼	1		35	1		37	3
22	8	-6	-3	10	9	9	3	18	41	41	36	15	H形鋼	1	3	32	1		37	11
48	11	33	38	59	67	76	81	100	125	89	120	85	コラム	4	9	14	1		28	57
3	0	3	-6	0	-9	-8	-3	-11	5	3	-6	-11	小形山形鋼			37	3		40	-8
0	-13	-18	-12	-3	-14	-11	-8	-11	3	3	-6	-14	中形山形鋼		1	35	4		40	-8
-3	-3	0	-9	-3	-6	-11	-3	-11	5	0	-9	-11	溝形鋼	1	1	34	4		40	-3
-3	-16	-15	-14	-11	-3	0	-9	-16	-6	-14	-9	-16	軽量形鋼C形	1		28	5		34	-9
-9	-16	-16	-15	-10	-11	-9	0	-5	-5	-5	0	-9	軽量形鋼広巾	1		20	2		23	0
41	32	4	14	13	8	4	7	12	8	12	0	-3	冷延薄板		2	22	2		26	0
50	31	27	23	12	11	-3	-3	0	17	14	16	-3	熱延薄板		3	26	4		33	-3
59	50	40	33	27	14	3	6	3	0	8	0	-7	表面処理鋼板		1	25	4		30	-10
80	52	32	25	18	11	-3	-3	-10	20	34	16	3	酸洗鋼板		2	27	2		31	0
55	24	21	19	16	7	5	7	7	20	20	18	7	中板		4	34	4		42	0
21	8	-6	14	14	10	23	31	41	49	45	36	15	厚板		9	31	2		42	17
6	-6	0	13	0	0	11	25	13	33	19	6	19	極厚板		2	18	1		21	5
3	-7	3	-10	-3	3	3	-3	-7	0	6	-6	6	縞板		2	30	2		34	0
0	-12	-11	-5	-12	0	-7	2	3	16	3	0	-5	中径角		2	31	6		39	-10
3	-9	-8	-8	-6	10	2	-5	0	3	8	13	2	ガス管黒		6	30	5		41	2
-3	-14	-6	-8	-12	3	-2	-5	-3	-3	-8	0	-5	構造用鋼管		3	32	5		40	-5
18	5	4	4	5	5	2	5	5	14	14	10	2	計	9	55	595	63	0	722	1

## 6. 中小物件の工期遅れ等で需給緩む

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	2月はH形鋼、コラム、一般形鋼と全品種、全く冴えない荷動きとなった。3月以降の春需に期待するしかない。
	B	春先の案件受注の引合いが始めた。北海道の丸棒は高値継続のまま、冬眠あけにエキストラ改定もあり、強含み横這いである。
東北	A	足元の受注は落ち着いている。例年通り、第1四半期、第2四半期の物件が動いている。メーカー入庫の際、オントラック条件に対し、当社で倉出し条件の見直しを検討中。人手不足で募集してもこない状況。
	B	1月、2月と荷動きが悪く収益は悪化している。丸棒の出荷は常磐自動車道向けの物件のみ好調で他は良くない。
	C	一次加工が忙しい。生材の動きが鈍い。予定より工期遅れが増えている。地元物件は少ない。ボルトが入らないため、物件がなくなるケースが出てきた。
	D	新規物件が少ない。忙しいのは建築関係だけである。土木物件の国土強靱化計画に期待する。
新潟	A	年度末での生産の調整など荷動きはあまり良くない。大幅に上がった価格転嫁も中途では動けない。市況の横ばいが暫く続く。
	B	引き続き建設関連は堅調だが、他業種に陰りあり。単価の上げは小幅でお願いしている。
	C	多少、小口の引合いは増加してきたように感じる。再度の丁寧な値上げの説明が必要である。
	D	メーカーデリバリーの遅れが改善されてきた。在庫は適正になっている。今後、予定されている物件が出てくると思われる。
	E	12月頃から品種を問わず動きが鈍くなってきた。3月も同様。
	F	3月に入り、需要に一服感あり。例年3月の荷動きは良いが、今年は1、2月にそこそこ動いたため今ひとつ荷動きが悪い。4月以降に期待している。
	G	季節需要は終息し、不需要期で産業機械、半導体関連に陰りがあり、全般的に盛り上りを欠く。建築物件は足元発注少ないが、ファブは受注残が多く山積みが高いためファブ向けは順調に推移している。
神奈川	A	公共、民間建設とも安定して発注を頂いている。工作機械用部品の発注が少なくなっている感がある。
	B	昨年末より1月末までは荷動き悪い。需要も落ち着いている。2月から多少上向くも需要の強さは感じられない。メーカースタンスは価格について上げ基調だが、環境は厳しい。先行き不安である。
東京	A	首都圏の建築向けの引合いは減っていないが、足元の荷動きは停滞している。需給両面で納期遅れが出ており、計画通りに進捗していない。
	B	中国材の入着が増し、かつ国内高炉よりは若干ながらも安価であるため、現状、収益確保が難しい。店売りにとっては、つい買ってしまいうところもある。1円でも安い仕入をして収益改善していかねればいけないくらい深刻である。需要はあるが、鞘がとれないジレンマになっている。

東京	C	自動車をはじめ建機、産機関係の生産レベルは高位を推移している状況だが、当初の計画により、下方修正がなされている。その分、過剰手配により、調整時期に入っている。二次問屋向けの店売り販売はユーザーの支給化が更に進んでいる様相。以前のような活況感がない。鉄鋼メーカー（特殊鋼）は繁忙を極めていたが、サイズによって若干の余裕が出てきている。
	D	状況は先月と変わらず。薄板三品の1月末在庫が440万トンと増えており、危機感を募らせている。
	E	薄板の安売りが散見される。公共建設、土木は順調に推移しているが、民間需要は特に薄板定尺の動きは急に悪くなっている。
	F	メーカー値上げの未達分の価格転嫁を実行したいが一部で下げる企業もあるなど環境が整わず苦勞している。
	G	昨年11月秋需のピークから2月、3月の動きは鈍くなっている。価格は横這いのままで加工はまあまあである。
	H	出荷は2月中頃から低調だが、価格転嫁中のため市況は強含みである。
静岡	A	前月同様、加工関連は受注残を抱え稼働は高めだが、素材販売は停滞したままで、価格転嫁も進んでいない。年度末が迫るも現状維持がいいところである。
	B	経済省の景気動向でも、建設、建築関連が牽引役の筆頭に挙げており、他業種との温度差が大きい。従って我々のお客様も同様で建築関係先の鉄鋼商品消費量が飛びぬけており、加工を含め価格はどう設定するのか。しかし、その裏側では建設、建築関連会社の不良債権、破綻手続きなどが続いている。町の製缶、機械業者への供給にリンクする感じは全くない。これが先々どうなるのか。地域限定にて受注活動している住宅向け鋼管基礎杭物件は契約まで時間を要したが、3月度は売上、粗利ともに過去最高となる予定である。新規の重機施工業者とのタイムリーな取引が効を奏している。
石川	A	北陸新幹線は現在、最盛期が続いている。まだ2～3年かかる。但し、職人不足と運転手不足で資材納入や設置工事に時間がかかる。前向きに考えれば、ゆっくり現場が進行した方がやり易い。関西経済界もやっと今になって新幹線継続延伸を中断なく続ける方針を強く要望しているが、うまくいけばリニア延伸と相乗効果もあり、敦賀でストップでは全く無駄なプロジェクトしかない。
	B	鋼材運搬のトラック運転手が不足しており、入荷に影響が出ている。スキルが不足している運転手による荷崩れなどの問題が起こっている。鋼板を荷台に相当、高く積み上げて持ってきたこともある。ひとつ間違えれば公道上での大惨事にもなりかねない。これからは積む方も注意が必要である。
富山	A	降雪が少ない割に公共工事、民間鉄骨案件も少なく、進捗度もゆっくりペースである。材料の在庫遅れも大きな問題にはならなかった。
	B	ボルト不足の影響で小型民間物件の延期や中止が出ている。
福井		昨年に比べ、今年は雪の影響も全くなく、売上はそれなりに上っているが好況感はなく荷動きは低調。3月以降も、ボルト不足の影響もあってか荷動きが向上く気配を今のところ感じられない。
岐阜		年明け以降、需要は微減。BCRコラムなどの納期も従来に戻ってきており、タイト感はない状況。熱延薄板、酸洗鋼板なども昨年秋口からのメーカートラブルで品薄感が出ると予想したが、需要の減少でタイト感はない。
愛知	A	年度末だが、設備関係は忙しいところ、暇なところと二極化している。Mグレード以下のファブはボルト不足により4月、5月と手が空いているところが出ている。パレット向けのパイプ受注が落ちている。

愛知	B	昨年末から全く新規受注が途絶えた感がある。非常に危機感を覚える。
	C	自動車支給材の価格（特殊鋼は別）はステイで決定した。原因は高炉が不調で出銑が減っているためである。メーカーがもっとしっかりしてくれないと流通は困る。今シーズンは出足が悪く終わりが早い商況であった。2月末の感覚がなく、3月末のような状況。採算確保のために営業努力している。（配送費、高騰の転嫁など）他地域から売り込みが激しい。集購分は小ロットが増えている。上期の計画も高水準だが、10月以降は不透明。消費税アップは時期的に自殺行為である。何とか維持してきた景気が最近下向きになっている。消費税を上げると不景気が加速するのではないか。
	D	自動車は動いているが、ほとんどが集購で、店売りには影響が少ない。他は良い業種が少なく全般的には良くない。4月以降に良い話が少なくて心配である。価格も仕入高分を吸収できず困っている。
	E	2月以降、動きは横ばい。価格はスクラップの動きからして値上げかなと感じて需給バランスが悪いのがこちらも横ばいである。年度末を思えば、仕方ないが、もう少し荷が動いてほしい。
三重		高力ボルトの納期は改善されず、ファブはリスクありきの物件受注を避ける傾向にある。とはいえ大手ファブの応援仕事はいくらでもある状況。あきらかに中小物件は少なく、倉出しは激減状態。当然、同業者の動きは活発で、いまだ値上げの価格転嫁が難しく売上はそこそこで利益は全くでないという状況。
大阪	A	ハイテンションボルトの入手難から、中小鉄骨物件の工期遅れ、延期、中止が目立っている。S造向けの基礎工事が極端に減少した。一方、木造、戸建て住宅基礎工事は堅調だが、いかせん、売上数量、金額ともに伸びない。一方、消費税増税を睨んだデベロッパーの宅地造成も一服気配となってきた。
	B	建築需要は堅調と思われたがハイテンションボルトの影響か荷動きがあまりよくない。在庫は年度末に向け徐々に増えてくると思われる。販売価格はメーカーが下げる気が全くない。市中は単価を維持しているが、価格を押し上げるほどの力はなく、現状価格を維持するのが精一杯である。
	C	ボルト問題など中小の建築案件は止まっているが、物流パレットを中心に一次加工は堅調である。
岡山		真備地区は住宅、工場の復興の動きが具体化してきている。水島コンビナートの定修が、昨年より少々増える模様。
香川		1～2月はH形鋼の動きが悪かった。大手ファブには関西物件が入り、仕事は確保されているが、中小ファブは地場物件が少ないうえボルト不足問題がかなり厳しい状況のようだ。
北九州	A	鉄スクラップ価格の続伸を背景に一部のメーカーは値上げを打ち出した。市況は落ち着いており、足元の上値を追うのは厳しい状況である。但し、先々の仕事量は見えているだけに弱気感はない。一方で値上りしている諸経費転嫁のタイミングを見極めたい。
	B	建築関係以外の製缶、精密製缶などのユーザーの仕事量はかなり減ってきているようだ。
	C	ハイテンションボルトの影響で現物の引合いなく、状況は非常を悪い。値崩れも出てきた。